

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【地域連携実践重点校用】

学校番号	9
学校名	富山県立中央農業高等学校

重点課題	企業や研究機関等と連携した次世代型農業技術の開発	
課題設定の趣旨	本校では、明るく豊かな社会の構成者及び農業の担い手にふさわしい人格の完成をめざし、個性の伸長と能力の開発に努め、創造性豊かで心身ともに健康でスマート農業等時代の進展に対応できる近代的な職業人を育成することを掲げている。	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	中長期ビジョンとして、①「未来の健康を支える食・農・環境を考え、実現しようとする力」、②「生かされている命を大切に力強く生きようとする自覚」及び③「経験を通して得られた自己肯定感と自己有用感の上に築かれる自信を持って生きる力」の3つの力を育み、農業経営者や地域産業の担い手の育成を目指している。特に③の力を伸ばすために企業や研究機関等と連携した最先端の技術を積極的に導入し、農業クラブ活動やプロジェクト学習の充実を図り、生徒が主体的・対話的で深い学びが実現されることにより、生徒の興味・関心を高め、学習意欲や問題解決能力が向上することを期待する。	
実施内容 (具体的に記入する)	1 省力化・精密化・効率化・環境創造型稲作栽培のプロジェクト学習 (目的)次世代型農業の担い手を育成するために、最先端農業機械によるスマート農業による乾田直播栽培法の開発やSDGsの観点を取り入れたドジョウやアイガモロボットを活用したアクアポニックス(Aquaponics)水稲栽培法を開発する。 (実施内容) ・(株)北陸近畿クボタとスマート農業機械の操作について連携。 ・マツウラ技研と水田におけるドジョウの養殖法について連携。 ・有機デザイン(株)と連携したアイガモロボットによる抑草実験。 2 中山間地農業の課題解決プロジェクト学習 (目的)中山間地での課題である野生動物による農作物被害を受けないと想定されるバジルやパタフライピー等を栽培・商品化し、中山間地における耕作放棄地の解消につなげる。 (実施内容) ・バジルやパタフライピー等を栽培し、商品化につなげる。 3 地域の貴重遺伝子資源の継承プロジェクト学習 (目的)地元、旧大山町の在来種である中地山カブの保存と普及 (実施内容) ・中地山カブの栽培マニュアル作成と新商品の開発を目指すとともに東京農業大学と連携・指導の元、その普及活動に取り組む。	
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	・次世代型農業の魅力的かつ最先端の農業技術を学ぶことにより、就農意欲の向上が期待できるとともにSDGsの観点を取り入れた農業技術の開発は持続可能な農村や社会を形成するための実践力を育むことにつながった。 ・実験実習などの体験的な学習を通して、実践力や創造力及び課題解決能力を育成することにつながった。 ・地域の課題を解決することにより、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、未来を自ら切り拓き、富山や全国を舞台に活躍する産業人を育成することにつながった。 ・研究の成果をとやま探求フォーラム(富山大学・富山県教育委員会主催)や全国農業高校お米甲子園2023プレゼンテーション部門(米・食味鑑定士協会主催)で自信を持って発表することにより、自己肯定感を身につけるとともに、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を持った豊かな人間性を育むことにつながった。全国農業高校お米甲子園2023プレゼンテーション部門では、準優勝にあたる優秀賞を受賞した。	
対象者(学年・人数など)	生物生産科作物科学コース26名(2年:10名 3年:16名)	
実施実績	4月	
	5月	講師による特別授業((株)キセキ、(株)北陸近畿クボタ)
	6月	
	7月	講師による特別授業(東京農業大学)
	8月	講師による特別授業(株式会社北陸近畿クボタ)
	9月	
	10月	
	11月	講師による特別授業(中地山カブ生産者 川上京子 氏)
	12月	
	1月	
	2月	講師による特別授業(マツウラ技研)
	3月	